

平成 25 年度板橋区区民意識意向調査の結果について

「板橋区基本計画」及び「いたばし未来創造プラン」を着実に推進していくためには、区民ニーズを踏まえつつ、「選択と集中」のもと、持続的な発展を可能とする区政経営に取り組んでいく必要がある。

そこで、これら計画の推進及び平成 28 年度を初年度とする新たな基本計画の策定に向けて、現在の区の施策や区政運営に対する区民の満足度をはじめ、定住意向、公共施設のあり方に関する考えなどについて把握するため、調査を実施した。

下記のとおり結果がまとまったので、報告する。

記

1 今回調査の特徴

以下の設問を追加した。

- ・「区内に住み続けたい理由」「区外に移り住みたい理由」を問う設問
- ・施策に対する満足度を問う設問の中から「板橋区への愛着を感じる理由」「板橋区が他の自治体に比べて誇れると感じる理由」を問う設問
- ・行政サービスで力を入れるべき分野と縮小もやむを得ない分野の両方を問う設問
- ・区職員に求める姿を問う設問
- ・公共施設のあり方に関する設問
- ・町会・自治会、NPO 団体への加入状況等に関する設問

2 調査概要（概要版 1 頁に掲載）

- | | |
|-----------|---|
| (1) 調査対象者 | 20歳以上の板橋区民3,000人 |
| (2) 抽出方法 | 住民基本台帳から層化二段無作為抽出
(5地域ごとの登録人口規模で3,000人を按分抽出) |
| (3) 調査方法 | 郵送法（郵送配布-郵送回収） |
| (4) 調査期間 | 平成25年9月21日（土）～10月7日（月） |

3 回収結果

有効回収数 1,354（有効回収率：45.1%） ※前回（平成23年11月）調査 有効回収率 42.6%

4 調査項目

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| (1) 区での住み心地・定住意向（問2～問3-3） | (4) 板橋区職員に期待する能力・資質（問9～問10） |
| (2) 施策に対する満足度・重要度（問4・問5） | (5) 板橋区の公共施設のあり方（問11～問16） |
| (3) 行政サービスと住民負担のバランス
（問6～問8） | (6) 町会・自治会、NPO団体への加入状況等
（問17～問18） |

5 結果の概要

結果の概要は以下のとおり。設問欄の頁番号は概要版の該当頁を示し、「新規」とあるのは今回調査から設問としたもの。回答概要に「前回」とあるのは、平成23年度調査の結果を示す。なお、概要版には掲載されていないものもある。

設問	設問の内容	回答概要
	選択肢数(複数回答上限)	
問1(2頁)	回答者の属性 略	性別、年代、居住地域、職業、家族構成、居住年数、直前の居住地

(1) 区での住み心地・定住意向

問2(3頁)	区での住み心地	「住みやすい」「まあまあ住みやすい」の合計	今回 84.2%	前回 82.0%
	選択肢5			
問3(3頁)	定住意向	「今後も区内に住み続けた い」	今回 85.7%	前回 81.5%
	選択肢2			
問3-1(4頁) (問3で「区内に住み 続けたい」と回答した 方)(新規)	区内に住み続 けたい理由	第1位「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い) なため」(50.8%)		
	選択肢15(3つ まで)	第2位「通勤・通学に便利のため」(41.7%) 第3位「学校や仕事、家族の都合がよいため」(29.6%)		
問3-2(6頁) (問3で「区外に移り 住みたい」と回答した 方)(新規)	区外に移り住 みたい理由	第1位「通勤・通学に便利のため」(30.0%) 第2位「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い) なため」(26.7%)		
	選択肢15(3つ まで)	第3位「自然環境に恵まれているため」(26.1%)		
問3-3(6頁～) (問3で「区外に移り 住みたい」と回答した 方)(新規)	区外に移り住 むとしたら住 みたい地域	第1位「東京23区内(板橋区を除く)」(58.9%) 第2位「その他(海外を含む)」(17.8%)		
	選択肢5	第3位「千葉県・神奈川県内」(7.2%)		

(2) 施策に対する満足度・重要度

問4(9頁～)	施策に対する 満足度	56 施策項目の「満足」と「まあ満足」の合計(割合)を算出 満足度の高い施策項目 (%)			
	選択肢6	今回		前回	
		1 公共交通	75.6	1 公共交通	74.4
		2 ごみ出しルール	67.6	2 ごみ出しルール	69.1
		3 食品衛生	65.3	3 区への愛着	61.2
		4 公園・緑地の整備	56.1	4 食品衛生	60.2
		5 自然地の保全	55.2	5 公園・緑地の整備	53.7
		満足度の低い施策項目			
		今回		前回	
		1 新産業創出	3.4	1 新産業創出	4.1
2 国際交流		4.9	2 国際交流	6.2	
3 農地の保全・活用	7.5	3 ボランティア・NPO活動	6.7		
4 障がい者の社会参加	8.4	4 自転車利用のマナー	8.8		
5 活力ある工業	9.2	5 障がい者の社会参加	10.2		

設問	設問の内容	回答概要			
	選択肢数(複数回答上限)				
問4(9頁～)	加重平均値※ ¹ でみる満足度	56 施策項目中、加重平均値がプラス(満足と評価されるもの)は41項目、加重平均値がマイナス(不満と評価されたもの)は14項目、加重平均値がゼロのものは1項目。			
		加重平均値の高い施策項目			
		今回		前回	
		1 公共交通	0.94	1 公共交通	0.91
		2 食品衛生	0.79	2 区への愛着	0.82
		3 ごみ出しルール	0.72	3 ごみ出しルール	0.73
	4 区への愛着	0.66	4 食品衛生	0.70	
	5 リサイクル	0.56	5 リサイクル	0.57	
	加重平均値の低い施策項目				
	今回		前回		
1 自転車利用のマナー	-0.69	1 自転車利用のマナー	-0.90		
2 新産業創出	-0.54	2 震災に強いまち	-0.45		
3 農地の保全・活用	-0.44	3 新産業創出	-0.30		
4 国際交流	-0.34	4 国際交流	-0.26		
5 震災に強いまち	-0.30	5 農地の保全・活用 バリアフリー	-0.23		
	相対満足度※ ² と改善度※ ³ からみた行政ニーズ(14頁～16頁の分析)	56 施策項目中、相対満足度・改善度とも高い項目は32項目、相対満足度は高いが改善度の低い項目は12項目、相対満足度は低いが改善度が高い項目は5項目、相対満足度・改善度とも低い項目は6項目、相対満足度は高いが、改善度に変化がない項目は1項目			
	板橋区に愛着を感じる		今回	前回	
	選択肢6		52.1%	61.2%	
	板橋区が他の自治体に比べて誇れると感じる	「満足」「まあ満足」の合計	今回	前回	
	選択肢6		24.7%	30.1%	
問4-1(17頁～) (問4で「板橋区に愛着を感じる」に「満足」「まあ満足」と回答した方)(新規)	板橋区に愛着を感じる理由 選択肢20(5つまで)	第1位「長年住んでいるため」(61.1%) 第2位「家族や友人・知人がいるため」(44.5%) 第3位「通勤・通学に便利のため」(42.1%)			
問4-2(17頁～) (問4で「板橋区が他の自治体に比べて誇れると感じる」に「満足」「まあ満足」と回答した方)(新規)	板橋区が他の自治体と比べて誇れる理由 選択肢20(5つまで)	第1位「医療や福祉が充実しているため」(34.4%) 第2位「自然環境に恵まれているため」(30.5%) 第3位「治安が良く安心して暮らせるため」(30.2%)			

※1 加重平均値：「満足」に“+2”、「まあ満足」に“+1”、「どちらでもない」に“0”、「やや不満」に“-1”、「不満」に“-2”を与えて算出し、0を基準として満足度を把握する。

※2 相対満足度：（「満足」+「まあ満足」）と（「不満」+「やや不満」）との差

※3 改善度：：平成25年度と平成23年度との満足度の加重平均値の差

設問	設問の内容	回答概要			
	選択肢数(複数回答上限)				
問5(20頁)	重点的に力を入れるべき施策	第1位～第5位の累計(%)			
		今回		前回	
	1 高齢者介護	40.2	1 子育て	34.5	
	2 防災	38.8	2 健康・衛生	34.4	
	3 子育て	35.7	3 高齢者介護	34.0	
	4 防犯	34.2	4 防犯	31.1	
	5 学校教育	32.3	5 防災	30.2	
	第1位に挙げられた項目(%)				
	今回		前回		
	1 子育て	19.9	1 子育て	17.8	
2 高齢者介護	11.4	2 高齢者介護	8.5		
3 防災	8.9	3 防災	7.0		
4 学校教育	8.8	4 健康・衛生	6.9		
5 防犯	5.2	5 行財政改革	4.7		

(3) 行政サービスと住民負担のバランス

問6(21頁)	税金に見合った行政サービスの提供	「感じられる」「まあまあ感じられる」の合計	今回	前回		
			24.9%	29.2%		
	選択肢5	「あまり感じられない」「感じられない」の合計	今回	前回		
			49.2%	52.2%		
問7(21頁)	将来的な行政サービスと住民負担のバランス	選択肢5	第1位	「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」	今回	前回
					32.7%	35.7%
			第2位	「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」	今回	前回
					20.2%	21.0%
		第3位	「行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する」	今回	前回	
				16.6%	17.0%	
問8(22頁) (新規)	行政サービスで「力を入れるべき分野」と「縮小もやむを得ない分野」	選択肢25(5つまで)	力を入れるべき分野(%)		縮小もやむを得ない分野(%)	
			1 子育て	48.8	1 国際交流	39.8
			2 高齢者介護	39.8	2 生涯スポーツ	32.5
			3 学校教育	39.3	3 文化芸術	31.3
			4 防災	33.0	4 区民参加	24.8
			5 防犯	27.1	5 生涯学習・社会教育	21.0

設問	設問の内容	回答概要
	選択肢数(複数回答上限)	

(4) 板橋区職員に期待する能力・資質

問9(23頁) (新規)	最近1年間での職員と接する機会の有無	「接する機会があった」(58.2%)
	選択肢2	「接する機会がなかった」(36.7%)
問9-1(23頁) (問9で「接する機会があった」と回答した方)	職員の能力・資質の現状評価	15項目について「そう思う」「まあそう思う」の合計
	選択肢6	第1位「親切・丁寧に対応している」(67.8%) 第2位「誠実な態度で職務にあたっている」(58.4%) 第3位「分かりやすく説明ができています」(52.9%)
問10(24頁) (新規)	職員に求める姿	第1位「区民の立場に立って物事を考えられる職員」(34.8%)
	選択肢14(3つまで)	第2位「親切・丁寧に対応する職員」(33.3%) 第3位「相手の意図を理解し、適切な行動ができる職員」(32.8%)

(5) 板橋区の公共施設のあり方

問11(24頁) (新規)	公共施設の利用状況	第1位「過去1年以内は利用しなかった」(35.1%)	
	選択肢5	第2位「月に1回以上利用した」(25.2%) 第3位「2～3か月に1回程度利用した」(12.3%)	
問12(25頁) (新規)	公共施設の量の充足	「充足している」「まあまあ充足している」の合計(46.8%)	
	選択肢5	「あまり充足していない」「充足していない」の合計(16.8%)	
問13(25頁) (新規)	公共施設の総量の抑制	選択肢5	第1位「公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである」(50.7%)
			第2位「今あるすべての公共施設は必要なものなので、現状維持を優先に考えて寿命を迎えたものはそのままの用途で建て替えるべきである」(23.8%)
			第3位「公共施設は足りないと思うので、減らすことよりも増やすことを考えるべきである」(4.1%)
問14(26頁) (新規)	公共施設に対する今後の方策	第1位「区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する」(42.9%)	
	選択肢9(無制限)	第2位「施設や敷地などの区有財産を有効活用し、売却・貸付・テナント収入などにより建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」(40.8%)	
		第3位「公共施設の建て替えは、耐用年数を経過した施設や統廃合による場合のみ行い、建て替え経費を軽減する」(31.5%)	

設問	設問の内容	回答概要
	選択肢数(複数回答上限)	
問 15(26 頁) (新規)	公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設 選択肢 9 (無制限)	第 1 位 「利用度や稼働率が低い施設」 (65.1%) 第 2 位 「区民のニーズに合わなくなった施設」 (58.2%) 第 3 位 「維持費用がかかりすぎる施設」 (39.7%)
問 16(27 頁) (新規)	民間活力を活用した整備や管理運営 選択肢 5	第 1 位 「民間活力を積極的に活用した方がよい」 (55.5%) 第 2 位 「民間活力を活用する施設を限定し、最小限にとどめた方がよい」 (17.0%) 第 3 位 「公共施設に関することは民間に任せず、すべて区が負担していく方がよい」 (7.2%)

(6) 町会・自治会、NPO 団体への加入状況等

問 17(28 頁) (新規)	町会・自治会、NPO 団体への加入状況 選択肢 4	第 1 位 「町会・自治会、NPO 団体のいずれにも加入していない」 (42.4%) 第 2 位 「町会・自治会に加入しているが、NPO 団体には加入していない」 (41.0%) 第 3 位 「町会・自治会、NPO 団体のいずれにも加入している」 (11.6%)
問 17-1(29 頁) (問 17 で「町会・自治会」「NPO 団体」のいずれか、または、いずれにも「加入していない」と回答した方)(新規)	加入していない理由 選択肢 13(3 つまで)	第 1 位 「忙しくて暇がないため」 (31.1%) 第 2 位 「加入の必要性を感じていないため」 (30.8%) 第 3 位 「加入するきっかけがないため」 (30.7%)
問 18(29 頁) (新規)	地域の活動を活発にするために必要なこと 選択肢 9 (3 つまで)	第 1 位 「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」 (44.9%) 第 2 位 「気軽に参加できるイベントの開催」 (44.2%) 第 3 位 「活動情報の積極的な P R」 (40.6%)